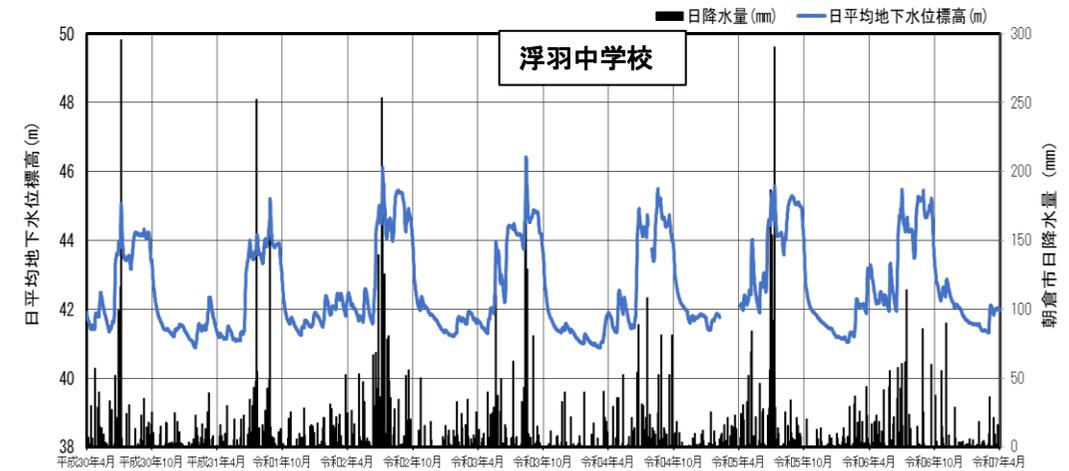
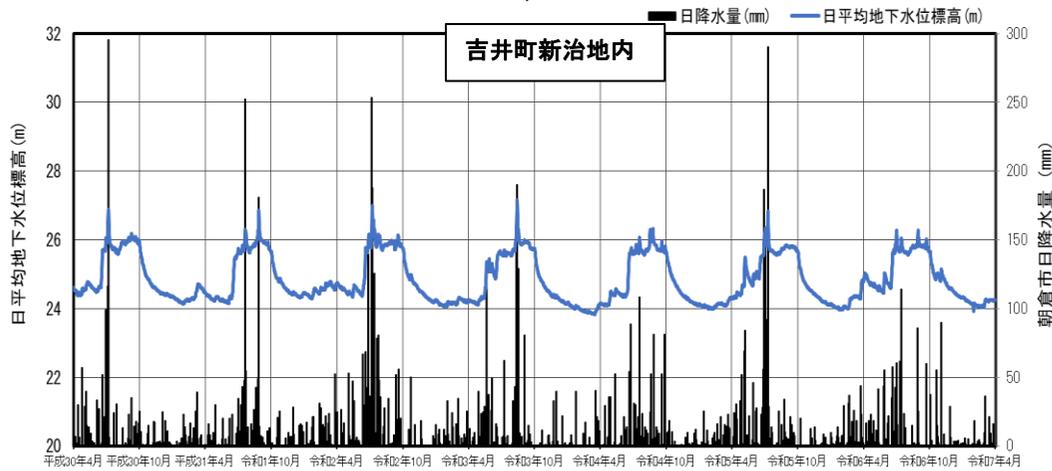
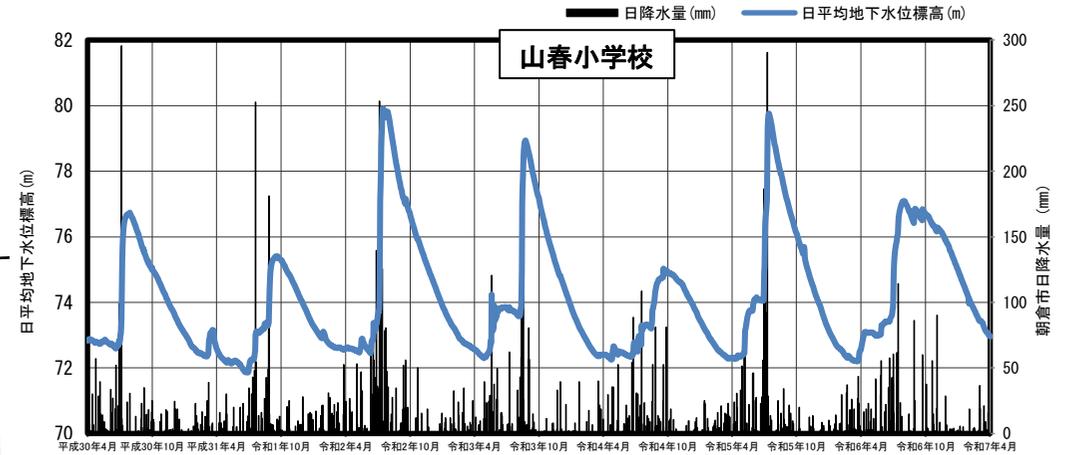


地下水位連続観測結果図(2018年度～2024年度まで)



【観測結果から分析できること】

- ① 地下水位について3地点共通して降雨量に比例して上昇・低下しています。
- ② 地下水位は、かんがい期に入る6月より上昇し、かんがい期が終了する10月より低下しています。(かんがい期: 川から水を引き、田畑を潤すことをかんがいといい、その期間をかんがい期と言います。地域によって多少時期が異なりますが、田植えが始まる6月頃から稲刈りの10月頃までをかんがい期としています。)
- ③ 観測場所によって、地下水位の変動幅が変わっています。
- ④ 2018年度～2024年度それぞれの水位の変動(折線グラフの形状)を見比べると、3地点共通してほぼ同様の変動となっています。